

君と備える もしもの事態に できること

荒川上流河川事務所 × 君と漕ぐ ながとろ高校カヌー部 (新潮文庫 nex)

災害を防ぐ！ 普段から目を向けて

近年、全国では大型の台風や局地的豪雨による水害が多発しており、荒川流域では5年前に令和元年東日本台風(台風第19号)による甚大な被害が発生しました。しかし、水害は予測できる災害です。気象や河川の情報を入手する方法や避難経路の確認など日頃から家庭でできる防災に目を向けましょう。



令和元年東日本台風の被害。
越辺川(右下)の右岸堤防が決壊(川越市平塚新田地先)



決壊の跡碑は、熊谷市久下付近の荒川左岸堤防上にあります。
昭和22年9月、カスリーン台風による洪水が、この付近で堤防を越え決壊。濁流は東京まで達して甚大な被害が出ました。

マイ・タイムラインを作ろう

マイ・タイムライン で 検索



マイ・タイムラインは、自宅や地域の洪水リスクを知り、大雨で河川の水位が上昇したときの行動を自ら考え時系列で整理する防災行動計画です。国土交通省は、小中学生向けのマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」をウェブサイトで公開しています。



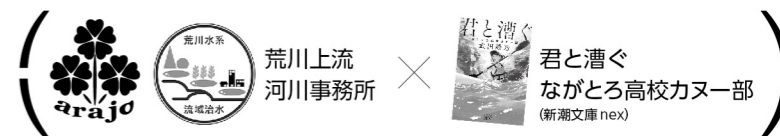
「逃げキッド」の一部

流域治水 家庭でできる水害対策

荒川水系流域治水プロジェクト で 検索



治水施設の整備や河道の掘削などこれまでの対策に加え、河川に流れ込む雨水量を少しでも減らすなどの対策が必要です。被害を最小限に食い止めるため大雨の時には水の使用を控えたり、自宅周辺の排水溝を掃除したり、土のうや水のうを設置するなど一人一人取り組めることがあります。



作家・武田綾乃さんの『君と漕ぐ ながとろ高校カヌー部』(新潮文庫 nex)と荒川上流河川事務所がコラボしました。



荒川上流 で 検索